

北海道大学広域複合災害研究センター 第二期オープニングセレモニーの開催

【概要】

平成 31 年 4 月に設置された北海道大学広域複合災害研究センターは、防災に関わる全学的な組織として教育研究や人材育成を進めてきました。令和 6 年 3 月をもって第一期の活動を終え、4 月より第二期の活動を開始しました。この度、第一期の活動報告と第二期の活動方針を発信し、新たな学問分野「広域複合災害減災学」の創出を目指す第二期のあるべき姿について議論を行う、第二期オープニングセレモニーを開催します。

【趣旨】

近年我が国では豪雨や地震が頻発しており、山崩れ、洪水氾濫、津波、地盤沈下など様々な現象が複合して、広域に渡り自然災害が発生し、人命や財産、土木施設など住民の生存基盤にとどまらず、農林畜水産業や電力・水・交通網などの産業基盤に大きな被害が生じています。北海道でも、平成 28 年には北海道豪雨、平成 30 年には北海道胆振東部地震により広域複合災害が発生しており、最近では、日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震による広域複合災害への対応が急がれています。

平成 31 年 4 月に設置された北海道大学広域複合災害研究センターは、こうした広域複合災害に対応するため、防災に関わる全学的な組織として教育研究や人材育成を進め、この 3 月で 5 年間の第一期活動を終え、4 月より第二期の活動を開始しました。オープニングセレモニーでは、第一期での活動と成果の報告、第二期での活動方針の説明を行うとともに、新たな防災学として「広域複合災害減災学」の創出を目指す活動のあるべき姿について議論を行います。

【日 程】 令和 6 年 4 月 25 日（木）13 時 30 分～17 時 00 分（受付：13 時 00 から）

【場 所】 北海道大学学術交流会館 講堂（札幌市北区北 8 条西 5 丁目）

（受付場所：北海道大学学術交流会館 講堂前）

JR「札幌駅」より徒歩 10 分、地下鉄南北線「北 12 条」駅より徒歩 10 分

【主 催】 北海道大学広域複合災害研究センター

【対 象】 大学、関係行政機関、関係民間機関、関係研究機関、一般市民

【募集人数】 250 人

【参加費】 無料

【言語】 日本語

【プログラム】

第1部 司会：笠井美青（北海道大学大学院農学研究院教授・広域複合災害研究センター兼務教員）

13：30 開会

13：30～13：40 開会挨拶

寶金清博（北海道大学総長）

13：40～14：00 来賓挨拶

柿崎恒美（北海道開発局長）

鈴木直道（北海道知事）、来賓挨拶代理 木村敏康（北海道危機管理監）

蝦名大也（釧路市長）

宮坂尚市朗（厚真町長）

14：05～14：55 特別講演「広域複合災害の本質と建築工学的防災戦略私案

～エリア情報から Personal Digital Transformation (PDX) へ～

岡田成幸（北海道大学名誉教授、広域複合災害研究センター 客員教授）

14：55～15：05 休憩

第2部 司会：厚井高志（広域複合災害研究センター 副センター長）

15：05～15：20 第一期活動報告

山田 孝（広域複合災害研究センター 第一期センター長）

15：20～15：35 第二期活動方針

佐々木貴信（広域複合災害研究センター 第二期センター長）

15：40～16：55 パネルディスカッション「新たな防災学を目指して－北海道大学広域複合災害研究センター第二期への期待－

■コーディネーター：松本浩司（日本放送協会 解説委員室解説主幹）

■コメンテーター：丸谷知己（北海道立総合研究機構 理事）

■パネリスト：米津仁司（北海道開発局 建設部長）

平野宏和（北海道総務部危機対策局危機対策課
海溝型地震対策室長）

菊谷秀吉（前伊達市長）

方波見謙一（北海道大学病院救命救急センター助教・
広域複合災害研究センター兼務教員）

南 哲行（一般社団法人砂防・地すべり技術センター
顧問）

山田 孝（広域複合災害研究センター 第一期セン
ター長）

佐々木貴信（広域複合災害研究センター 第二期セン
ター長）

16：55～17：00 閉会挨拶

厚井高志（広域複合災害研究センター 副センター長）

17：00 閉会

【広域複合災害研究センターの概要】

(1) 設置の目的

本センターでは、気候変動、日本並びにその周辺の地震活動等によって近年激増しつつある自然災害に対して、現象論的な専門分野に偏ることなく、地域の特性と人間活動を反映した災害予測・軽減対策を研究し、その成果を大学院生や官公庁、民間企業の技術者へのリカレント教育及び地域社会のリーダー育成に生かしていくことを目的としています。

本センターは、学内共同施設（研究施設）として位置付けられ、基本的には寄附金により運営されています。本センターでは基礎的研究と、自治体・民間等の需要に応えられる応用的研究の両方を融合し、これらの総合的研究によってより実践的な防災対策を対外的に提案できる組織とします。また、異分野融合を柱として災害研究を行い、農、工、理、文、経済及び公共政策などの多面的なアプローチを特徴として、その成果を大学院レベルでの教育に活かす人材育成機能も持たせます。

(2) 活動内容

本センターは、以下の3つの柱に基づき活動します。

- ① 広域複合災害の事前（予防・予測） → 発生時（緊急時対応） → 事後（復旧・復興対応）を一貫したアウトリーチにも重点をおいて研究を行う「研究開発」
- ② 大学院共通授業科目の実施、防災に係る研究者の人材育成、社会人（防災担当者）のリカレント教育による防災対応能力向上に向けた「防災教育」
- ③ 道庁や市町村、市民などに対する平常時の防災知識の普及、緊急時の専門的な助言などの「社会貢献」

(3) 組織

研究スタッフ 31名（北海道大学学内21名、学外10名）（令和6年4月1日現在）

(4) センター事務局場所

北海道大学農学部本館内（N307） 札幌市北区北9条西9丁目

お問い合わせ先

北海道大学広域複合災害研究センター 副センター長 厚井高志（こういたかし）

T E L 011-706-3882 メール cnhr_unei@agr.hokudai.ac.jp

配信元

北海道大学社会共創部広報課（〒060-0808 札幌市北区北8条西5丁目）

T E L 011-706-2610 F A X 011-706-2092 メール jp-press@general.hokudai.ac.jp